

## JCB、IDEMIA と Soft Space と CBDC 向けの決済ソリューションの実証実験 「JCBDC™」プロジェクトを開始

～既存の決済インフラで CBDC 取引をご利用可能に～

株式会社ジェーシービー(本社:東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長:浜川 一郎、以下 JCB)は、アイデンティティ技術の世界的リーダー企業の一つである IDEMIA(本社:フランス パリ、グループ President & CEO Pierre Barrial/日本法人:アイデミア・ジャパン株式会社、本社:東京都 渋谷区、代表取締役:根津 伸欣)、グローバルに決済ソリューションサービスを提供するマレーシアのフィンテック企業 Soft Space Sdn. Bhd. (本社:クアラルンプール、CEO Joel Tay、以下 Soft Space)と提携し、中央銀行デジタル通貨(Central Bank Digital Currency、以下 CBDC)向け決済ソリューションの開発および実証実験「JCBDC (※)」プロジェクトを開始しました。



世界にひとつ。あなたにひとつ。



### 背景・実施内容

現在世界各国にて CBDC に関する検討や実装が進みつつあり、日本でも、日本銀行が CBDC の検討および実証実験を行っております。今後「一般利用型 CBDC」が導入される際、既存の決済インフラとの融合や、スマートフォンを利用しない層(高齢の方やお子様など)も含めた幅広いユーザーにとってフレンドリーな環境の提供などが課題です。これらの課題を解決することで、利用者および CBDC 取扱店舗の双方にとって利便性の高い決済インフラを提供することが重要になります。

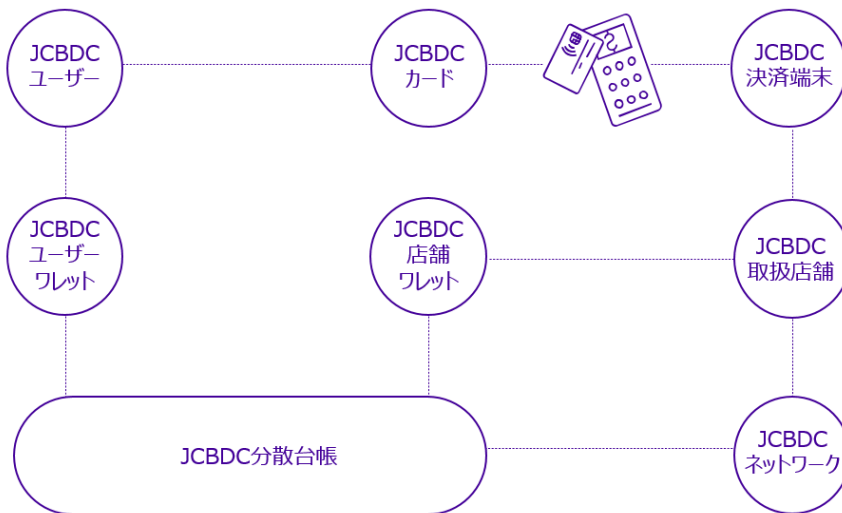
そこで JCB は、IDEMIA・Soft Space との協業により、既存のクレジットカードの決済インフラをそのまま CBDC 向けに開放すること、カード形状の CBDC 向けユーザーインターフェースを提供することの 2 点につき、技術的可能性の検討を進めて参りました。

今般技術的な実現の目処が立ったため、3 社共同で決済ソリューションの開発および実証実験「JCBDC」プロジェクトを行うこととなりました。

※JCBDC は JCB による造語で、「Japan CBDC」(日本の CBDC)と「JCB Digital Currency」(JCB によるデジタル通貨向けソリューション)を表しております。

## 今回開発・実証する決済ソリューション

JCB と IDEMIA、Soft Space は、以下 3 つの機能からなるソリューションを開発いたします。



### 1. JCB の提供するタッチ決済インフラの活用

- JCB のタッチ決済 (JCB コンタクトレス) をそのまま利用可能となるよう、取扱店舗の決済インフラ、ご利用者のインターフェースを構築いたします。
- なお、取扱店舗の決済インフラは、Soft Space の持つスマートフォンを非接触決済端末として利用する「Tap on Mobile(※)」を利用いたします。  
※Tap On Mobile とは、加盟店様が市販の Android 版スマートフォンやタブレットに CARDNET が提供する「Tap On Mobile」アプリケーションをインストールすることで非接触決済が利用可能となるものです。
- 今回の実証実験ではタッチ決済を活用いたしますが、将来的には QUICPay™ (クイックペイ) や QUICPay+™ (クイックペイプラス) などモバイル決済でおなじみのソリューションや、JCB の提供する QRコード・バーコード決済ソリューション Smart Code™ (スマートコード)™ の活用も検討して参ります。

### 2. CBDC 向けのカード提供

- スマートフォンをご利用されない方であっても CBDC をお使いいただけるように、カード形状の CBDC 向けインターフェースをご提供いたします。
- カード形状インターフェースは、JCB の提供するタッチ決済機能を有しており、簡単・便利にご利用いただけます。
- 将来的には QUICPay、QUICPay+ を用いたカード形状のインターフェースや、同じくタッチ決済、QUICPay、QUICPay+、Smart Code などを用いたスマートフォン利用によるインターフェースの提供も検討して参ります。

### 3. 疑似的な CBDC 取扱環境の構築

- CBDC には、アカウント方式とトークン方式の 2 種類が存在しますが、今回はブロックチェーン上にバリエーション管理機能を構築するトークン方式を採用し、独自に疑似的な CBDC 環境を提供いたします。
- そのうえで、利用者および CBDC 取扱店舗がそれぞれの保有する CBDC 残高を確認するための照会インターフェースを提供いたします。

2022 年中に決済ソリューションを開発のうえ、2023 年 3 月末までの期間に実店舗での実証実験を行い技術検証ならびに課題の潰しこみを行っていく予定です。

JCB は、これら取り組みを通じて、今後登場が見込まれる CBDC を、利用者・取扱店舗双方にとって負荷なく、安全・安心にご利用いただける、新たな決済ソリューションサービスの提供をめざします。

## IDEMIAについて

IDEMIA は、拡張アイデンティティの世界的リーダー企業の一つです。市民や消費者が日常生活における重要な活動（支払い、インターネット接続、旅行など）を、物理的な空間やデジタルな空間で行うことができる信頼できる環境の提供に努めています。IDEMIA は、今日の世界では、アイデンティティを保護することが極めて重要な使命と考えており、プライバシーと信頼を確保し、安全で認証された検証可能な取引を保証する拡張アイデンティティを支持することで、アイデンティティについて、考え方、生産、使用、保護の方法を再構築しています。

IDEMIA は、金融、通信、アイデンティティ、公共セキュリティ、IoT 分野の国際的な顧客に拡張アイデンティティを提供しています。世界中に 15,000 人近くの従業員を擁する IDEMIA は、180 カ国のクライアントにサービスを提供しています。

## Soft Spaceについて

2012 年に設立された Soft Space は、マレーシアのクアラルンプールに本社を置くグローバルなフィンテック企業です。金融業界の複雑な構造を簡素化するソリューションを生み出し、23 ヶ国で 50 以上の金融機関で導入されています。

また、Soft Space はマレーシアデジタルエコノミー公社 (MDEC) が将来性の高いフィンテック企業を対象に実施している支援プログラムを受けました。2018 年にはイギリスのファイナンシャルタイムズ紙が選定するアジア太平洋地域の高成長企業 1,000 のうち 66 位に位置づけられ、2020 年には International Data Corporation が選定する急成長企業のひとつとして認められています。2022 年 1 月には、JCB と資本業務提携を開始しました。

JCB は、「おもてなしの心」「きめ細かな心づかい」でお客様一人ひとりのご期待に応えていきます。そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思っただけ、お客様にとっての世界にひとつをめざし続けます。

以上

＜報道関係者からの問い合わせ先＞  
株式会社ジェーシービー 広報部 広報グループ 高田・中島  
MAIL: [jcb-pr@jcb.co.jp](mailto:jcb-pr@jcb.co.jp) TEL: 03-5778-8353